

5

女性ホルモンのほたらきは？

二次性徴期の女の子では、女性ホルモンのほたらきが活発になって妊娠、出産に必要なからだの環境がととのってきます。たとえば、女性ホルモンは皮下脂肪を増やすほたらきがあり、女の子は全体に丸みのあるからだつきになってきます。皮下脂肪がおなかの中の赤ちゃんを守ってくれるんですね。また、女性ホルモンのほたらきで、女の子の骨盤の形は横長に広がってきます。赤ちゃんをしっかり支えるとともに、お産がしやすいようになってくるんですね。

<妊娠って…>

子宮の両側には卵巣があり、卵巣の中に卵子が眠っています。成熟した卵子は、およそ28日の周期で卵巣から飛び出していきます(排卵)。卵巣から出てきた卵子が精子に出会い(受精)、受精卵を育てるベッド(子宮内膜)に包み込まれると(着床)、はじめて妊娠が成立します。

<月経って…>

受精卵を育てるベッド(子宮内膜)をふかふかにしておくのも女性ホルモンの役割。卵子が精子と出会えなかったり、うまく受精卵がベッドにおさまらなかったりすると、いらなくなったベッドははがれ落ちてしまいます。これが月経です。そしてからだの中では、新しいベッドの準備を始めます。女性のからだでは、毎月のように新しいベッドをつくって妊娠に備えているんです。

